

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナーⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	ビジネスマナーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック		出版社	早稲田教育出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	テスト50%、課題・提出物30% 授業態度等20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	サービス接遇検定3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡田 愛子	実務経験	○		
実務内容	NPO教育マナー協会認定講師。日本カリスト協会認定講師。市の講座・公立中学校職場体験・国際フォーラムにてマナー指導者として活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	対人技能(敬語)①	様々な接遇用語・敬語について
4	対人技能(敬語)②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
5	対人技能(一般的なマナー)	動作を行う際の基本・ポイントについて
6	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
7	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について

8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接客者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する。				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する。 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業態度等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古屋 有紀	実務経験		○	
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーとは、色の連想	授業の目的・到達目標について パーソナルカラーを学ぶ意味を知る
2	色の心理的効果	色の持つイメージと性質、色の心理的効果について
3	色と光について①	色の見える仕組み、光について
4	色と光について②	眼（視覚）のしくみについて
5	色の特徴について①	無彩色と有彩色、三属性について、色相環の作成
6	色の特徴について②	三属性について、色相環・トーン図の作成
7	色の特徴について③	トーンについて

8	配色（色相、トーン）	配色、色相、トーンについて
9	配色（配色の応用、イメージ配色 他）	配色の応用編について 条件にあった配色をつくる
10	対比と同化	対比と同化について
11	混色・慣用色名	混色の原理・慣用色名について
12	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎について
13	パーソナルカラーの基礎② 復習	各シーズンの特徴について、復習
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	7つの習慣Ⅰテキスト、夢のスケッチブック		出版社		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する				
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子・福羅 愛艶		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行うため。また日誌を書くことの意味についても説明し、今日からの取り組みを伝える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で夢スケの日誌継続を促進する
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解させ、自分との約束を守らせる
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解させ、一時停止ボタンを使っていこうと思わせる
5	言霊～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が成功へと繋がることを気づき・理解・行動させる
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を知る
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり自分が決めたことに対して決意をさせる

8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解するため（スタプロの復習・再確認の場を兼ねる）
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分像の考えさせることによって、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより鮮明にさせる
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を確固たるものにする
11	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。決意させたことをアクションに落とし、実際に活動させる
12	時間管理のマトリクス	第2領域を優先したスケジュール管理について学ぶ
13	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解させ、信頼にも貯金箱があることを理解させる
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	成功するための原則	前期の総括とともに、あきらめないことの大切さを伝えモチベーションを高める

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デッサン・イラストレーション		
必修選択	選択	(学則表記)	デッサン・イラストレーション		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数	30				
使用教材	スケッチブック 鉛筆 (H HB B 2B 3B) 練りゴム カッター 30cm定規 色鉛筆			出版社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	観察力と洞察力を養い芸術を理解する				
到達目標	基本的な形・人体を描くことで人体の理解ができるようになっている。 エステやネイル、メイクやヘアのデザインを理解できるようになっている。				
評価基準	テスト40%、提出物40% 授業態度等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	和田夏子	実務経験	○		
実務内容	13年間、デザイン会社に勤務しデザイン・イラスト制作に携わる。 現在フリーランスで講師とイラストレーターとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	デッサンとは 鉛筆の基本的な使い方	デッサンの必要性について 用具使用方法と鉛筆の削り方、グラデーション練習
2	基本的な形態の描き方	基本的な形の描き方について
3	人体の描き方①	パーツの描き方について
4	人体の描き方②	顔と髪型の描き方について
5	人体の描き方③	人体の書き方について
6	基本的な形態の描き方 (色彩)	色相・彩度・明度を混色で理解する、グラデーション練習
7	色彩実験とグラデーション練習	着彩について
8	模写と着彩①	デザインを考案し着彩する

9	模写と着彩②	デザインを考案し着彩する
10	人物写真の模写	人物写真の模写について
11	平面構成①	コラージュ作成①
12	平面構成②	コラージュ作成②
13	作品制作①	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
14	作品制作②	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成作成
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	皮膚学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き				
到達目標	肌を美しく健康に保つためのスキンケアの方法をクライアントに提案することができる				
評価基準	筆記試験50%・小テスト30%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン・				
関連科目	生理学Ⅰ・ベーシックエステⅠ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	林 麻予	実務経験	○		
実務内容	ビューティセラピスト、美容クリニックでのメディカルエステティシャンとして勤務。9年前より自宅サロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚学Ⅰオリエンテーション 皮膚の基礎知識 ①	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生体における皮膚の役割 2. 皮膚の構造と働き (1)～(2)
2	皮膚の基礎知識 ②	2. 皮膚の構造と働き (2) (3) 肌理について
3	皮膚の基礎知識 ③	2. 皮膚の構造と働き (4)
4	皮膚の基礎知識 ④	2. 皮膚の構造と働き (5) 皮脂腺・立毛筋
5	皮膚の基礎知識 ⑤	2. 皮膚の構造と働き (5) 立毛筋 (6) (7)
6	皮膚の基礎知識 まとめ 筆記テスト	成績評価①皮膚の基礎知識 (断面図・名称) グループ

7	美容上大切な6つの働き ①	1、皮脂膜 2、角質バリア
8	美容上大切な6つの働き ②	3、表皮ターンオーバー 4、メラノサイトの働き
9	美容上大切な6つの働き ③	5、毛細血管の働き 6、繊維芽細胞 7、皮膚の働きのバランス 小テスト/テスト返却
10	皮膚の生理作用 ①	皮膚の生理作用(1)～(6) 保護・体温調節・分泌・吸収
11	皮膚の生理作用 ②	皮膚の生理作用(7)～(9) ビタミンD合成・貯蔵・知覚/テスト対策
12	筆記テスト 肌の美しさを損ねる要因 ①	成績評価② 筆記テスト 美容上大切な6つの働き 1、紫外線
13	肌の美しさを損ねる要因 ②	2、寒気 3、乾燥 4、加齢
14	肌の美しさを損ねる要因 ③	5、女性のリズム 6、精神的ストレス 7.胃の不調 8、生活習慣 小テスト
15	総合授業	総合復習 まとめグループ 前期総復習(個人)

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	生理学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・骨格系・筋系・神経系				
到達目標	体を美しく健康に保つためのボディケアの方法をクライアントに提案することができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度(グループワークor課題作成)、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ・ベーシックエステⅠ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	生理学Ⅰオリエンテーション 生命と適応進化の歴史	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生命とは 2. 生命40億年／はるかな旅 3. 生命の適応進化とエステティック
2	生命活動とホメオスタシス1	1. ホメオスタシスの定義と発見 2. ホメオスタシスの実際 3. ホメオスタシスの具体例
3	生命活動とホメオスタシス2	ホメオスタシスを制御する仕組み ホメオスタシスを乱すストレス
4	身体の基本1	ホメオスタシスを乱すストレス 1. 身体の構成 小テスト
5	身体の基本2	1. 身体の構成 2. 身体の設計図
6	身体の基本3	3. 身体を構成する物質 4. 血液 物質運搬 筆記試験範囲まとめ / グループワークor課題作成(成績評価対象)

7	骨格系・筋系1・筆記試験	成績評価①筆記試験 / 1. 体区分 2. 骨格(1)①骨の役割
8	骨格系・筋系2	2. 骨格(1)②骨の構造と代謝 ③関節 ④骨格の構成(頭蓋骨・脊椎)
9	骨格系・筋系3	2. 骨格(1)④骨格の構成 (胸骨・上肢骨・下肢骨・骨盤)
10	骨格系・筋系4	2. 筋系(2)①筋肉の役割 ②筋肉の種類③骨格筋 ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋
11	骨格系・筋系5	筋系(2)④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋 筆記試験範囲 まとめ / グループワークor課題作成(成績評価対象)
12	神経系1・筆記試験	成績評価② 筆記試験 1. 神経細胞 2. 神経系の種類
13	神経系2	3. 中枢神経 (1) - (2)
14	神経系3	3. 中枢神経 (3) - (4)
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する 5大栄養素 ・ 栄養所要量 ・ 食物摂取とその消化吸収				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、食事と健康・5大栄養素・栄養所要量についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木 まゆみ	実務経験	○		
実務内容	栄養士として病院や保育所で勤務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	栄養学の基礎知識 5大栄養素1	1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素(1)
3	栄養学の基礎知識 5大栄養素2	1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素(1) 蛋白質
4	栄養学の基礎知識 5大栄養素3	2. 5大栄養素(2)(3) 脂質
5	栄養学の基礎知識 5大栄養素4	2. 5大栄養素(2)(3) 糖質
6	栄養学の基礎知識 5大栄養素5	2. 5大栄養素(4) 炭水化物
7	栄養学の基礎知識 5大栄養素6	2. 5大栄養素(5) 無機質

8	栄養学の基礎知識 5大栄養素7	2. 5大栄養素 (5) ビタミン
9	5大栄養素 まとめ	まとめ
10	筆記テスト	栄養素の種類・5大栄養素 成績評価①
11	栄養学の基礎知識 栄養価1	3. 栄養価
12	栄養学の基礎知識 栄養所要量2	4. 栄養所要量 (1) 基礎代謝
13	栄養学の基礎知識 まとめ	まとめ
14	栄養学の基礎知識 消化吸収	5. 食物摂取とその消化吸収 (1) (2)
15	筆記テスト	栄養価・栄養所要量・食物の消化吸収 成績評価② 総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	化粧品学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料				
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	ベーシックエステⅠ・ベーシックメイクⅠ・ベーシックネイルⅠ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	岡崎 由佳	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	化粧品学Ⅰオリエンテーション	オリエンテーション
2	化粧品概論 1	1. 化粧品・医薬部外品と薬機法
3	化粧品概論 2	2. 化粧品の分類
4	化粧品概論 3	3. 化粧品の品質と品質保証
5	化粧品概論 4	4. 化粧品の取り扱い上の留意点
6	化粧品概論 5	まとめ

7	筆記試験	化粧品概論 成績評価①
8	メイクアップ化粧品 1	1. メイクアップ化粧品の目的と働き 2. ベースメイクアップ料 3. ポイントメイクアップ料
9	メイクアップ化粧品 2	着色料について
10	ネイル化粧品	1. ネイル化粧品の目的と働き 2. ネイルポリッシュ 3. ポリッシュリムーバー
11	ヘアケア化粧品	1. ヘアケア化粧品の目的と働き 2. 洗髪料 3. 育毛料 4. ヘアスタイリング料 5. トリートメント長 6. パーマネントウェーブ料 7. 染毛料、ヘアブリーチ
12	フレグランス	1. フレグランスの目的と働き 2. 女性用香水 香水以外のフレグランス商品
13	まとめ	メイクアップ化粧品・ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス総合まとめ
14	筆記試験	メイク・ネイル・ヘアケア化粧品・フレグランス 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックの概念	オリエンテーション 1. エステティックとは何か 2. 内面美容としてのエステティック
2	エステティックの本質と領域1	1. エステティックの語源と歴史
3	エステティックの本質と領域2	2. エステティックの領域
4	ソワンエステティック1	1. ソワンエステティックの語源 2. 目的と期待される効果

5	ソワンエステティック2	3. スキンタッチの重要性 4. 五感美容
6	美と健康エステティシャンとしての心構え	1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 1. エステティシャンの資質 2. ホスピタリーマインドの意義
7	日本のエステティック 世界のエステティック	1,日本のエステティック 2,世界のエステティック
8	筆記試験	エステティックの概念～エステティシャンの心構え 成績評価①
9	公衆衛生	1. 公衆衛生とは 2. 世界における公衆衛生の歴史 3. 日本における公衆衛生の歴史
10	衛生管理1	1. 衛生管理全般 2. 消毒方法の種類とその基本的な使用法
11	衛生管理2	3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるものの消毒方法
12	感染症1	1. 感染のメカニズム
13	感染症2	2. エステティックに関連する感染症
14	筆記試験	前期総合 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックエステⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックエステⅠ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数					60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類			出版社	日本エステティック協会

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。				
評価基準	実技試験80%(フェイシャル40%・ボディ40%)授業態度・提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ 生理学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	岡崎 由佳 他	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ベーシックⅠオリエンテーション ボディエステティックとは	自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 3. ルールについて・ベッドセッティング
2	接客マナー	笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい・基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位・流れ(下肢後面デモ・練習)・下肢後面相モデル練習
3	ボディマッサージ 下肢後面①	手技練習・拭取り練習
4	ボディマッサージ 下肢後面②	下肢後面通し練習
5	ボディマッサージ 下肢後面③	下肢後面通し練習
6	ボディ実技試験	成績評価①
7	フェイシャルエステティックとは 接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ 事前準備・基本動作・ベッド誘導
8	フェイシャル クレンジング ①	クレンジング導入・デモ

9	フェイシャル クレンジング ②	クレンジング練習
10	フェイシャルマッサージ ①	マッサージ導入・デモ
11	フェイシャルマッサージ ②	マッサージ導入・デモ
12	フェイシャルマッサージ ③	マッサージ総合
13	フェイシャルマッサージ ④	マッサージ総合
14	フェイシャル実技試験	成績評価②
15	総合技術	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックネイルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイルⅠ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数					60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、 基礎的なケアカラー技術を実践できる				
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC 3級レベルを習得する				
評価基準	実技テスト30%、筆記テスト30%、小テスト20%、宿題及び授業態度他20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級				
関連科目	生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 しのぶ	実務経験	○		
実務内容	都内ネイルサロン・カナダにてネイリストとして勤務。 本部認定講師の資格を取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	教材配布(名称及び説明)今後の説明 歴史・技術体系 面取り・ウッドスティック整え方	検定用に名前を付けさせる 今後3級取得までの流れを説明 出来る事でのメリットを伝え、今までの生徒や講師自身の話をする
2	ネイル概論(爪の構造と働き) ネイルの為の皮膚科学 ファイリングデモ実技(トレーニングハン	爪の構造・皮膚学(皮膚学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ) トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、 5パターンのカットスタイルの違いを理解する ライトを使用する(AL方式)
3	消毒法 テーブルセッティング ファイリング実技(相モデル)・バッフィン	消毒衛生を理解する 検定に準じたテーブルセッティングを学ぶ バッフィングの方法を学び、実践する
4	ネイルのための生理学Ⅰ・Ⅱ ケア デモンストレーション(プッシュアップ ・プッシュバック・ニッパーの使い方)	生理学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ 正しい使用方法、手順を学ぶ ケアだけのデモンストレーションを見せ実施する
5	ケア実技(相モデル)	両手を通しての手順を確実にマスターする
6	化粧品学 カラーリングデモ カラーリング実技(相モデル)	化粧品学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ ボトルの持ち方、ポリッシュの量、塗り方を学ぶ(持ち塗り、置き塗り)
7	爪の病気とトラブル 爪の異常 カラーリング実技	爪のトラブルを学ぶ カウンセリング～ケア～カラーリングまでの手順を学ぶ
8	検定注意事項3級検定DVD ケア・カラーリング実技	検定に向けて手順を完全に把握する。必要があればDVDを用いて講義を行う

9	ポリッシュアートとペイントアート 講義・デモ・実技 シート練習 アート練習(チップ)	検定以外の基本のアートを学び、ネイルの楽しさを伝える (ルチ・ジョー・レー・ファン・マブ #他) アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ
10	アート練習 カラー・アート(相モデル)	(ドット・ライン・ベタ塗りなどと共に花や葉などの基本形とバランス・色合い) テーマを決めアート練習 ※チップにラウンド・アートの宿題
11	ケア・カラー・アート実技 筆記試験対策	手順がきちんと身につけているかを確認する ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題 筆記試験対策を行う
12	検定実技 (タイムトライアル)	検定技術をマスターする ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
13	実技試験 (テスト)	夏休みの課題を与える 検定合格に向け、実技チェックを行う
14	筆記試験 (テスト) 検定実技	手順/用具の使い方/衛生面を重視してチェックする ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)				
関連科目	検定メイクⅠ、検定メイクⅡ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験		○	
実務内容	美容室に勤務し、ブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)

9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福羅 愛艶		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	これからの流れについて 継続力の大切さについて
2	夢	メイクの仕事について
3	人間力	人間関係の考え方について
4	夢	ネイルの仕事について

5	人間力	チャレンジすることの大切さについて 挨拶の大切さについて
6	夢	エステの仕事について
7	人間力	漢字から読みとる心の授業
8	夢	ブライダルの仕事について
9	人間力	継続力が成果を生む・メティスについて
10	夢	ヘアアレンジ（美容師）の仕事について
11	人間力	感謝の心について
12	夢	若手実業家について
13	人間力	チームワークについて
14	夢	礼儀について
15	人間力	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する。				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する。 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる。				
評価基準	テスト40%、検定試験30%、提出物20%、授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古屋 有紀	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	アドバイス実践 (ファッション)	ファッションについて
2	アドバイス実践 (ヘアカラー・メイク)	ヘアカラー、メイクについて
3	アドバイス実践 (ネイル・ブライダル)	ネイル、ブライダルについて
4	総復習	検定試験に向けての総復習
5	総復習	復習と練習問題
6	検定対策授業	復習と練習問題

7	検定対策授業	復習と練習問題
8	検定対策授業	復習と練習問題
9	検定対策授業	復習と練習問題
10	検定対策授業	復習と練習問題
11	パーソナルカラーの判定①	パーソナルカラーの判定に必要な知識について
12	パーソナルカラーの判定②	パーソナルカラーの判定に必要な知識・実践について
13	コラージュ作成①	4つのグループの特徴を理解し、コラージュの作成を行う
14	コラージュ作成②	4つのグループの特徴を理解し、コラージュの作成を行う
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
選択必修	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する				
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なかを理解する				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子・福羅 愛艶		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを理解させる
2	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
3	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ばせる
4	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があるということを伝える
5	自分を磨く	自分を磨くことの大切さを伝え、具体的な行動を考えさせる
6	過去の自分とこれからの人生	具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定に繋がるモチベーションを引き出す
7	人生ビジョンを見直そう	望む生活をするためにお金が必要であることを知り、現実的なライフプランが大切であることを理解させる
8	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める

9	未来マップを作ろう②	未来マップを発表し合うことで、自身の夢を宣言し、実現に向けた決意を促す
10	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える機会とする
11	X Yゲーム	ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常実践することは難しいということ学ぶ
12	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
13	後期の総括	後期の総括と2年生にむけてモチベーションを高める
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度も頑張ろうと決意させる
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度も頑張ろうと決意させる

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福羅 愛艶		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション
2	人間力	担任の想い
3	人間力	集団で良いチームを作る①
4	人間力	集団で良いチームを作る②

5	夢	卒業生講話
6	人間力	感謝について
7	夢	卒業生講話
8	夢	卒業生講話
9	人間力	感謝について
10	夢	専門コースについて
11	夢	専門コースについて
12	夢	専門コースについて
13	人間力	2年次の自分を想像する
14	夢	春休みの就職活動について
15	夢	春休みの就職活動について

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナーⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	ビジネスマナーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック		出版社	早稲田教育出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	テスト40%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	サービス接遇検定3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡田 愛子	実務経験	○		
実務内容	NPO教育マナー協会認定講師。日本カリスト協会認定講師。市の講座・公立中学校職場体験・国際フォーラムにてマナー指導者として活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	検定対策授業	復習と練習問題
2	検定対策授業	復習と練習問題
3	検定対策授業	復習と練習問題
4	検定対策授業	復習と練習問題
5	検定対策授業	復習と練習問題
6	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説

7	履歴書作成①	履歴書とは、履歴書のマナー、履歴書の書き方について
8	履歴書作成②	履歴書作成
9	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
10	社交文書 ②	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について
11	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
12	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
13	実技演習②「面接練習」	面接試験の種類とチェックポイントについて
	実技演習③「電話応対」	面接ロールプレイング
14	実技演習④「お茶出し」	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	皮膚学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析				
到達目標	さまざまな肌状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる。				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン・				
関連科目	生理学Ⅱ・プロフェイシャルⅠ(エステ)・ベーシックエステⅡ(メイク)・フェイシャル&ボディⅠ(インナー)				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	林 麻予	実務経験		○	
実務内容	ビューティセラピスト、美容クリニックでのメディカルエステティシャンとして勤務。9年前より自宅サロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚学Ⅱオリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 小テスト成績評価対象
2	さまざまな肌状態 1	1. 肌意識の年代変化 2. 美しい肌
3	さまざまな肌状態 2	3. 衰えた肌
4	さまざまな肌状態 3	4. 色素沈着を起こした肌①
5	さまざまな肌状態 4	4. 色素沈着を起こした肌②
6	さまざまな肌状態 5 筆記テスト	筆記テスト① 成績評価① / 5. ニキビ①

7	さまざまな肌状態 6	5. ニキビ②
8	さまざまな肌状態 7	テスト返却 / ニキビ③
9	さまざまな肌状態/肌と環境	6. 肌荒れと敏感 1. 肌と地域気候 2. 肌と気象の季節区分
10	肌分析・筆記テスト	筆記テスト② 成績評価② 1. 目的 2. 肌分析を行う上で考慮すべきポイント 3. 肌質チェック項目
11	肌分析	4. 肌タイプ / 肌分析 (実践) 小テスト成績評価対象
12	免疫・アレルギーについて	テスト返却/免疫とは (免疫細胞の種類、免疫システム)/アレルギー
13	様々な皮膚疾患	様々な皮膚疾患 肌分析/肌トラブル (研究)
14	肌分析/肌トラブル (研究)	肌分析/肌トラブル (発表) ALグループ学習・成績評価対象
15	総合授業	総合授業を行う ※メイクコース・ネイルコースは総復習を行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	生理学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート エステティシヤンのための解剖生理学(エステコースのみ)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会(エステコースのみ)	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系 ・生殖器系				
到達目標	さまざまな体質・体型・状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる。				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度(グループワーク)、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン 認定ボディエステティシヤン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ(エステ)・プロボディⅠ(エステ)・ベーシックエステⅡ(メイク)・フェイシャル&ボディⅠ(インナー)				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシヤンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	生理学Ⅱオリエンテーション 末梢神経	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 末梢神経
2	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (1) - (3)
3	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (4)
4	内分泌系 1	1. 内分泌系の役目 2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (1)
5	内分泌系 2	2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (2) - (7)
6	筆記テスト/呼吸器系	筆記テスト① 成績評価① 1. 呼吸のあらまし 2. 外呼吸と内呼吸 3. 呼吸器の構造 4. 呼吸運動

7	循環器系 1	1. 心臓の構造 2. 血液循環 (1) - (4)
8	循環器系 2	3. 心臓の興奮伝達系 4. 血管の種類と構造 5. リンパ系 (1) (2)
9	循環器系 3	4. リンパ系
10	循環器系 4	循環器系 まとめ 小テスト
11	消化器系 1	1. 消化作用 2. 消化器系の構成 (1) - (4)
12	消化器系 2	2. 消化器系の構成 (5) - (7)
13	テスト / 泌尿器系	筆記テスト② 成績評価③ 1. 腎臓とは (1)
14	泌尿器系 / 生殖器系	1. 腎臓とは (2) (3) 2. 副腎とは 1. 月経のメカニズム 2. 妊娠 3. 胚葉分化
15	総合授業	総まとめを行う 感覚/内分泌系/呼吸器系/消化器系 まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート エステティシヤンのための栄養学		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。 ・栄養学から見た食品 ・健康と栄養・サプリメント・食品添加物				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン 認定ボディエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウセリング(エステ・インナー)				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木 まゆみ	実務経験	○		
実務内容	栄養士として病院や保育所で勤務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	栄養学Ⅱオリエンテーション	前期の振り返り
2	栄養学の基礎知識 消化吸収	5,食物摂取とその吸収
3	栄養学の基礎知識 食品 1	6. 栄養学から見た食品 (1)
4	栄養学の基礎知識 食品 2	6. 栄養学から見た食品 (2)
5	栄養学の基礎知識 食品 3	6. 栄養学から見た食品 (2)
6	栄養学の基礎知識 食品 4	6. 栄養学から見た食品 (2)

7	筆記試験	まとめ/成績評価①
8	健康と栄養 1	1. 栄養状態の判定 2. 肥満
9	健康と栄養 2	3. 中・老年期の栄養
10	健康と栄養 3	4. 美容と栄養
11	健康と栄養 4	まとめ
12	筆記試験	栄養学の基礎知識 (10月-11月分) 健康と栄養 成績評価②
13	サプリメント	サプリメント
14	食品添加物	小テスト
15	まとめホームケアアドバイス	フェイシャル及びボディシートの ホームケアアドバイス内容

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	化粧品学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・フェイシャル、ボディ化粧品 ・化粧品に用いられる薬剤とその働き				
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウセリング(エステ)・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ(エステ)・ベーシックⅡ(メイク)				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	岡崎 由佳	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション 前期の振り返り
2	フェイシャル化粧品 1	1. フェイシャル化粧品の目的と働き 2. 洗顔化粧品
3	フェイシャル化粧品 2	3. 整肌化粧品
4	フェイシャル化粧品 3	4. 賦活化粧品
5	ボディ化粧品 1	1. ボディ化粧品の目的と働き 2. 洗浄料
6	ボディ化粧品 2	3. シェイプアップ料 4. サンケア料

7	ボディ化粧品 3	5. 制汗・防臭料 6. 浴用料 7. 脱毛料
8	筆記試験	フェイシャル・ボディ化粧品 成績評価①
9	化粧品の原料 1	1. 化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴 2. 水性原料 3. 保湿剤
10	化粧品の原料 2	4. 油性原料
11	化粧品の原料 3	5. 界面活性剤 6. 高分子化合物 7. 着色料 8. 香料
12	化粧品に用いられる薬剤とその働き 1	1. 紫外線カット剤 2. 酸化防止剤 3. 防腐防カビ剤
13	化粧品に用いられる薬剤とその働き 2	4. 美白剤 5. 肌荒れ防止剤など 6. ニキビ用薬剤 7. 制汗防臭剤 化粧品の原料 薬剤とその働き
14	筆記試験	化粧品の原料 薬剤とその働き 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイルⅡ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイル技術の基本を学び実践でき、さらに基礎に加えてJNA 2級課題である爪の補修・補強を学ぶ				
到達目標	JNEC3級のネイル技術をマスターし、JNA 2級取得が出来る技術				
評価基準	実技テスト30%、筆記テスト30%、3級検定結果30%、宿題及び授業態度他10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大宮 佳奈子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ (筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して 解答を解説
2	検定実技(タイムトライアル)	
3	検定実技(タイムトライアル)	
4	アート(フレンチ・ファン・シボレー他) 相モデルにて	白やピンクなどのマットカラーのカラーリング練習と 共に前期で学んだポリッシュアート(ラメグラデ等)や アニマル柄やチェックなどを含んだ流行のアートも 取り入れて相モデルにて行い習得していく
5	アート(マーブル・ウォーターマーブル) 相モデル	
6	アート(トレンドアート) 相モデル	
7	ハンドトリートメント講義 ハンドトリートメント実技	ハンドトリートメントについて学ぶ

8	ケア・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントについて学ぶ
9	プレパレーションデモリペア (シルクラップ) チップラップデモ、実技	爪の補修・補強及び チップによる長さだしの技術を学ぶ
10	リペア (シルクラップ) チップラップ相モデル	
11	リペア (チップラップ) 相モデル	
12	リペア (チップラップ) 相モデル	
13	実技テスト (アート・チップラップ)	授業の総復習として アートも含め実技を行う
14	筆記テスト ハンドトリートメント実技	(ペイントアート&ポリッシュアート)
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックエステⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックエステⅡ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験80%(フェイシャル40%・ボディ40%)授業態度・提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ 生理学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ベーシックエステⅡ オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	ディープクレンジング (粒子有・無)導入	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔(粒入り・無し)
3	ディープクレンジング (粒子有・無)練習	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔(粒入り・無し)
4	ディープクレンジング (酵素)導入	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔(酵素)
5	ディープクレンジング (酵素)練習	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔(酵素)
6	ディープクレンジング総合	ケースワーク ※モデルの肌状態で(粒子有・なし・酵素&スチーマー) 選択：口頭試問
7	ディープクレンジング総合	ケースワーク ※モデルの肌状態で(粒子有・なし・酵素&スチーマー) 選択：口頭試問

8	実技試験	成績評価① ディープクレンジング総合
9	実技試験	成績評価① ディープクレンジング総合
10	ボディマッサージ 導入	デモ・腰背部、拭取り
11	ボディマッサージ 練習	腰背部、拭取り
12	ボディマッサージ 総合	腰背部通し
13	実技試験	成績評価② ボディマッサージ 腰背部 拭き取り
14	実技試験	成績評価② ボディマッサージ 腰背部 拭き取り
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセリング		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセリング		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数					30
使用教材	化粧品ブランド資料・カルテ・カウンセリングシート等 筆記用具・ノート…ファイル		出版社		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの業界で求められる人材や接客についての言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。				
到達目標	コミュニケーション(対人)能力を身につける。 接客サービスの提供が出来るようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。				

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイク業界の仕事とは	授業の目的目標、評価基準、授業ルール メイクの職種について/どんな人材が必要とされているかを理解する
2	メイクの仕事に就く上での 接客マナー・注意点など	身だしなみ・接客用語・敬語・気遣いについて知る
3	スキンケア知識対策 化粧品ブランドのグループ分け	化粧品ブランド調べグループに分ける ブランドの特徴を知る
4	カウンセリングとは①	ビフォアカウンセリングとアフターカウンセリング カウンセリング時の注意事項を理解する
5	カウンセリングとは②	信頼されるための話し方・聞き方・関わり方や声のトーンを理解する
6	カウンセリングシート・実践	記入の仕方・お客様に差し上げるシートには何を記入する お客様のお悩みを聞き出し、要望をこたえるスキンケアを選ぶロールプレイング
7	接客マナー①	来店～施術までの動きを知る
8	接客マナー②	前回の復習 施術後～お帰りまでの動きを知る

9	スキンケア知識対策	ブランド化粧品を研究、今後カウンセリングに必要な知識を理解する
10	ベースメイク知識対策	ブランド化粧品を研究、今後カウンセリングに必要な知識を理解する
11	メイク知識対策①	ブランド化粧品を研究、商品プレゼン(ハンドタッチアップ含)
12	メイク知識対策②	ブランド化粧品を研究、商品プレゼン(ハンドタッチアップ含) テスト/振り返り
13	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	クレンジング～化粧くずれの対処法(小項目)
14	化粧品検定級対策② 間違いな美容知識をチェック	自分に似合う色の見つけ方～手や爪の特徴を学ぼう
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定メイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	3	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック・問題集・ メイクアップテキストアドヴァンス		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。				
到達目標	検定の内容に沿ったメイク技術を身につける。 スキンケア・メイクアップテクニックを実践できる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック				
関連科目	ベーシックメイクⅠ、検定メイクⅡ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子	実務経験		○	
実務内容	サロン勤務後、大手化粧品会社トレーナーを経て、フリーランスヘアメイクとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク34分行う テスト扱いとする
8	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)

9	アドヴァンス検定対策①	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
10	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
11	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
12	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
13	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、テストを行う
14	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、テストを行う 振り返りを行う
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。				
到達目標	ブラッシング・ピンングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験		○	
実務内容	美容室に勤務し、ブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称
2	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入
8	ホットカーラー ピンング	ホットカーラー反復練習 ピンング導入

9	ホットカーラー／ピニング 逆毛	ホットカーラー、ピニング反復練習 逆毛導入
10	ホットカーラー／ピニング 逆毛	ホットカーラー、ピニング、逆毛反復練習
11	アイロン	アイロン導入
12	アイロン	アイロン反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト	実技テスト
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルメイク			
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルメイク			
開講					単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45	
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック		出版社	ユアサポート		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップが出来るようになる。				
到達目標	人に似合うメイクが出来るようになる。 お客様やモデルが希望するメイクデザインをその人の顔に合わせて出来るようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀	実務経験		○	
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルメイクとは	授業の目的目標、評価基準、授業ルール基本プロポーションレクチャー
2	プロポーション	素顔を生かすセルフメイク/プロポーション測定
3	理想のプロポーション	素顔を生かすセルフメイクの実践
4	錯覚Ⅰ	印象チェンジセルフメイク/錯覚メイクの実践
5	錯覚Ⅱ・色の錯覚	錯覚を応用したテクニック/色彩的な錯覚の実践
6	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
7	カラーマップ 質感	カラーマップの見方を理解質感の特徴理解
8	カラーマップに沿ったメイク	前回と違うパターンメイクをする。

9	ベース作り①	座学 顔写真+自分に合ったベース作り錯覚メイクのプロポーション理解
10	ベース作り②	前回の資料を元にベースメイク
11	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
12	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
13	イメージチェンジ	相モデルでイメージチェンジメイクを実践
14	フルメイク	フルメイクテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す				
到達目標	メイクの基礎技術から、フルメイクまで出来るようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック				
関連科目	検定メイクⅠ、検定メイクⅡ、ヘア&メイク、パーソナルメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子	実務経験		○	
実務内容	サロン勤務後、大手化粧品会社トレーナーを経て、フリーランスヘアメイクとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする

9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク	ネイル → 色、質感について導入、実践 エステ → メイク対策
12	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク	ネイル → 色、質感について導入、実践 エステ → メイク対策
13	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク	ネイル → 色、質感についてテスト エステ → メイク対策についてのテスト
14	ネイル → 色、質感 エステ → フルメイク	ネイル → 色、質感についてテスト エステ → メイク対策についてのテスト
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート エステティシヤンのためのエステティックカウンセリング(エステのみ)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン 認定ボディエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウセリングⅠ・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシヤンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	エステティックカウンセリング オリエンテーション	オリエンテーション
2	カウンセラーの役割	1. カウンセリングとコンサルティング 2. 「ソワンエステティック」の担い手として 3. 悩みを解決へと導く心理学療法 4. ストレスにより「ホメオスタシス」も低下 5. エステティックサロンに求められているもの
3	心のメカニズムと顧客心理	1. 「意識」「情動」「欲求」 2. 「顧客心理」四つのポイント 3. 聞き上手になろう 4. 話し上手になろう
4	カウンセリングの流れ 1	1. 受付での対応 2. ピフォーカウンセリング
5	カウンセリングの流れ 2	3. 施術中のカウンセリング 4. アフラーカウンセリング 1～4 小テスト
6	筆記試験	カウンセラーの役割・心のメカニズムと顧客心理 成績評価①

7	カウンセリングの実際 1	1、サロン内の環境 2、コンサルテーションシート フェイシャル・ボディメニュー・技術選択の考え方
8	カウンセリングの実際 2	3、肌性及びトラブルに対する判断 4、体型と体質の判断 5、カウンセリング機器
9	カウンセリングの実際 3	フェイシャルケース1 (さまざまな肌状態 皮膚学Ⅱがすべて終了している)
10	カウンセリングの実際 4	フェイシャルケース2 (さまざまな肌状態 皮膚学Ⅱがすべて終了している)
11	カウンセリングの実際 5	ボディケース1 (循環器系 生理学Ⅱが終了している)
12	カウンセリングの実際 6	ボディケース2 (肥満・中高年の栄養 栄養学Ⅱで終了している)
13	カウンセリングの実際 7	肌分析・体分析 ケース①
14	カウンセリングの実際 8	肌分析・体分析 ケース②
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・筆記用具・ノート エステティシヤンのための関連法規・エステティック概論・サロンでの衛生消毒		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。 ・経済行為、人の身体に直接関連する法律				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン 認定ボディエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウセリングⅠ・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシヤンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 前期復習※エステ実習の為	オリエンテーション・前期の振り返り 3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるものの消毒方法
2	衛生管理・衛生管理の実践	1. 手指の衛生措置 2. 手指の洗浄と消毒 3. 消毒剤の効果と特徴
3	関連法規関連法規 「法」の基礎知識 1	1. 社会生活と「法」 2. 法とは社会規範 3. 法の強制力 4. 法の原則
4	関連法規関連法規 「法」の基礎知識 2	5. 日本の資格制度 6. エステティックと法律

5	消費者保護 1	1. 消費者政策 2. エステティックに関連する消費者トラブル
6	消費者保護 2	3. トラブル対応の心得
7	人の身体に直接関連する法律 1	1. 四つの衛生法規 2. エステティックに関わりの深い衛生法規
8	人の身体に直接関連する法律 2	テスト範囲まとめ
9	筆記試験	成績評価① 消費者保護・人の身体に直接関連する法律・法の基礎知識の範囲
10	エステティック業界の統一自主基準 1	1. 自主基準策定の目的 2. エステティックの定義
11	エステティック業界の統一自主基準 2	3. 日本エステティック振興協議会の倫理綱領 4. サロン遵守事項
12	経済行為に関する法律 1	1. 商法 2. 集客 3. 個人情報の保護に関する法律
13	経済行為に関する法律 2	6. 消費者契約法 7. 特定商取引に関する法律 8. 割賦販売法
14	筆記試験	成績評価② エステティック業界の統一自主基準～経済行為に関する法律
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ・エステティシアンのためのフェイシャル技術理論・クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験80%(成績評価全4回実施)授業態度・提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅠ オリエンテーション	前期復習・オリエンテーション
2	ポイントメイククレンジング 形状別クレンジング剤	形状別クレンジング剤の使用方法について ポイントメイククレンジング
3	ディープクレンジング (粒子有・無し)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔(粒入り・無し)・練習: フェイシャルマッサージーマスクーふき取りー誘導
4	ディープクレンジング(酵素)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマーディープ洗顔(酵素)・練習: フェイシャルマッサージーマスクーふき取りー誘導
5	ディープクレンジング練習	ケースワーク
6	実技試験	ケースワーク成績評価①

7	ディープクレンジング (ブラシ・キッシング)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 フリマツール、キッシング
8	ディープクレンジング(電気)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 エレクトロクレンジング・ディスインクラステーション
9	ディープクレンジング 総合	ケースワーク
10	実技試験	成績評価②
11	ディープクレンジング総合	ディープクレンジング総合
12	スキンチェック	クレンジング後のスキンチェック方法導入
13	ケーストレーニング	肌分析 ケースワーク
14	ケーストレーニング	肌分析 ケースワーク
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディ I		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディ I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	クリエータ化粧品 マッサージオイル・タオル類・消耗品類 備品類・採寸用メジャー 新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ エステティシアンのためのボディ技術理論		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける				
到達目標	エステティシアンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合った手技を組み合わせたマッサージを行うことができる				
評価基準	実技試験80%(成績評価全2回実施)授業態度10%、提出物10%(コンサルテーションシート、ノート、プリントなど)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシアン ajeste認定上級エステティシアン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子	実務経験	○		
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシアンとして勤務。同時に講師として15年目、スクール試験や外部試験に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	前期の振り返り/前操作デモンストレーション
2	腰背部マッサージ 導入	デモンストレーション・手技・拭き取り
3	腰背部マッサージ 練習	通し練習 下肢後面～腰背部
4	下肢前面マッサージ 導入	デモンストレーション・手技・拭き取り
5	下肢前面マッサージ 練習	通し練習 腰背部～下肢前面
6	実技試験	成績評価① 腰背部～下肢前面

7	上肢マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り
8	腹部マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り
9	デコルテ・頭部マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り
10	マッサージ総合	上肢～腹部～デコルテ・頭部
11	マッサージ総合	下肢後面・腰背部・下肢前面・上肢・腹部・デコルテ・頭部マッサージの不足箇所の練習
12	実技試験	成績評価② 総合
13	ボディチェック（採寸含む）	確認とボディチェック（視診・触診・問診）の デモンストレーション・実践 マッサージ練習
14	ボディチェックを含めた総合授業	確認とボディチェック（視診・触診・問診）の実践 コンサルテーション・マッサージ
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト1級・筆記用具・ノート エッセンシャルオイル入門検定1級Aセット		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。 アロマテラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる				
評価基準	筆記試験60%・精油小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	アロマテラピー検定1・2級				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福羅 愛艶	実務経験		○	
実務内容	エステティシャンとしてトータルビューティーサロンに3年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	アロマテラピーオリエンテーション 第1章 イントロダクション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマテラピーとは・精油とは</li> <li>・仲間同士の植物の特徴</li> </ul>
2	第2章 エッセンシャルオイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の持つ性質、作用、抽出方法</li> <li>・精油のプロフィール (イランイラン クラリセージ グレープフルーツ)</li> </ul>
3	第2章 エッセンシャルオイル 第3章 セーフティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の選び方、自然環境との関係、安全に使うための心がけ</li> <li>・精油の作用・精油のプロフィール (サイプレス・サンダルウッド・ジャーマンカモミール)</li> </ul>
4	第4章 プラクティス 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意すべき対象者、保管方法 基材について</li> <li>・精油のプロフィール (ジャスミン・ジュニパーベリー・スイートオレンジ)</li> </ul>
5	第5章 メカニズム 筆記試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油が心身に伝わる仕組み 成績評価①</li> </ul>
6	第6章 ビューティー&ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア</li> <li>・精油のプロフィール (スイートマジョラム・ゼラニウム・ティートリー)</li> </ul>
7	第7章 ヒストリー 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマテラピーの歴史 (エジプト、ギリシャ、ローマ、インド、中国)</li> <li>・精油のプロフィール (ネロリ・パチュリ・ブラックペッパー)</li> </ul>

8	第7章 ヒストリー 2	・アロマセラピーの歴史（アラビア・イスラム社会、中性ヨーロッパ、日本） ・精油のプロフィール（フランキンセンス・ペチパー・ペパーミント）
9	第7章 ヒストリー 3	・アロマセラピーの歴史（近世～近代ヨーロッパ） ・精油のプロフィール（ベルガモット・ベンゾイン・ミルラ）
10	第7章 ヒストリー 4	・アロマセラピーの歴史（現代 アロマセラピーの誕生） ・精油のプロフィール（メリッサ・ユーカリ・ラベンダー）
11	第8章 関連法規 1	・アロマセラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（レモン・レモングラス・ローズ）
12	第8章 関連法規 2	・アロマセラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（ローズオットー・ローズマリー・ローマンカモミール）
13	第4章 プラクティス 2	・アロマセラピーの利用法（紹介のみ）
14	コラムまとめ 筆記試験	・各章にあるコラムの部分でアロマセラピーの活用や知識の幅を広げる 成績評価②（第1章から題8章まで）
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク(ネイル)Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク(ネイル)Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する				
到達目標	お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る				
評価基準	授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNAジェルネイル検定初級・JNECネイリスト検定3級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 しのぶ	実務経験	○		
実務内容	都内ネイルサロン・カナダにてネイリストとして勤務。 本部認定講師の資格を取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	3級検定実技	3級検定に向けて、最終練習
2	3級検定実技	
3	3級検定実技	
4	導入 サロン運営とは	カウンセリング・プロとしての身だしなみ・心構え・言葉遣い・
5	導入 サロン運営とは	道具の管理・予約票・カルテ管理・集客方法(SNS活用)など
6	バーチャルサロン準備	グループに分かれてバーチャルサロンを立ち上げる
7	バーチャルサロン準備	

8	バーチャルサロン	グループ発表 教室をサロンに見立ててシミュレーション
9	サロンワーク技術	ジェルアートサンプル作り
10	サロンワーク技術	ジェルアートサンプル作り
11	サロンワーク技術	パラフィン・トリートメントについて
12	サロンワーク技術	パラフィン・トリートメントについて
13	サロンワーク技術	模擬サロン・ロープレ
14	サロンワーク技術	模擬サロン・ロープレ
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スカルプチュア		
必修選択	選択	(学則表記)	スカルプチュア		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC 1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る				
到達目標	JNEC 1級取得を目指すとともに、サロンワークで通用する技術をマスターする				
評価基準	授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト60%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 実保	実務経験	○		
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴24年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 リペア、オフ デモ・実技	授業の目的・グルーオン・シルクラップ・オフ デモ・実技
2	チップオン チップラップデモ、実技	チップオン・チップラップデモ・実技ハンド
3	チップラップ実技	チップラップ (ハンド・相モデル)
4	チップラップ実技	チップラップ (相モデル)
5	教材説明 スカルプ理論 (講義デモ) ミクスチュア作りのデモ・練習	教材の説明、スカルプ理論・ミクスチュアの取り方
6	オーバーレイ	デモ・オーバーレイ実技 (ハンド)
7	オーバーレイ	オーバーレイ実技 (ハンド)

8	オーバーレイ	オーバーレイ実技（相モデル）
9	スカルプチュア	スカルプチュアデモ・実技（ハンド）
10	スカルプチュア	スカルプチュア実技（ハンド）
11	スカルプチュア	スカルプチュア実技（相モデル）
12	実技テスト	
13	筆記テスト	
14	スカルプチュア	スカルプチュア実技（相モデル）
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート（フラット）を描くことができる				
到達目標	2級レベルのネイルケア技術（お金を頂くことができる技術力）と与えられた課題のアートが描ける				
評価基準	作品提出20%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	・JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大宮 佳奈子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー復習	基礎技術の確認と3級検定に向けての総仕上げ（2級対応・プッシャーニッパー強化）
2	ケア・カラー復習	
3	カラーデモ・実技	パールホワイト・マットピンク・マットベージュの塗り方デモ・実技
4	ペイントアート （アクリル絵の具アート）	2級検定に向けてアクリル絵の具を使用してのアートを学ぶ チップにて過去の2級アートのテーマにて作品制作を行う
5	ペイントアート （アクリル絵の具アート）	
6	実技（ケア・カラー・アート）	2級検定に向けてラウンドの正確さ・プッシュアップとプッシュバック・ニッパーのハンドリングを意識する
7	実技（ケア・カラー・アート）	

8	実技（ケア・カラー・アート）	
9	実技（ケア・カラー・アート）	時間を計って時間内に正確な技術が出来るようにしていく アートについては毎回テーマを決めて描き、難易度を上げていく
10	実技（ケア・カラー・アート）	
11	2級検定実技 （タイムトライアル）	
12	2級検定実技 （タイムトライアル）	ポリッシュオフ～カラーリング・アート
13	実技テスト	
14	実技テスト・筆記テスト	
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	3	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC 3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる				
到達目標	JNEC 2級・JNAジェル初級の取得及びサロンワークで通用する基礎技術の習得				
評価基準	3級検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・ジェルネイルⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 実保	実務経験	○		
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴24年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	3級検定実技	3級検定に向けて、最終練習
2	3級検定実技	
3	検定注意事項・2級検定デモ (手順・流れ説明)	JNEC 2級検定に向けて筆記対策と共に検定要項に沿い注意事項を確認
4	2級対応ケア練習 ラウンド/プッシャー/ニッパー強化	基礎的な技術を復習し完全にマスターしていく
5	プレパレーション、 チップラップデモ・実技	爪の補強・補修及びチップによる長さだしの技術を学ぶ
6	チップラップ実技	
7	チップラップ相モデル	
8	2級検定後半実技【アート決め】 (チップラップ・カラー・アート)	2級検定の後半実技の練習を繰り返し行う

9	2級検定後半実技 (チップラップ・カラー・アート)	2級検定の後半実技の練習を繰り返し行う
10	ジェル初級検定実技または 2級検定実技 (タイムトライアル)	タイム取りをしてジェル検定実技または2級実技試験の実技の練習を行う
11	ジェル初級検定実技または 2級検定実技 (タイムトライアル)	
12	2級検定検定注意事項 筆記テスト	検定要項に沿って注意事項を確認
13	実技テスト	
14	実技テスト	
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅠ		
		開講		単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、 特性を理解して説明して施術が出来る				
到達目標	ネイルの基礎的な知識・技術を理解し、ジェル検初級取得を目指す				
評価基準	初級検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大宮 佳奈子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材説明・セッティング・初級実技試験について	教材説明、セッティングについて、ジェル初級の内容を理解する
2	ジェル講義 ジェルカラーデモ クリア・カラー実技(自分の爪)	ライトで硬化するジェルシステムをジェルネイルテキストで学ぶ クリア・カラー デモ・実技
3	クリア・カラー実技(相モデル) オフの仕方	クリア・カラー実技、オフの仕方デモ・実技
4	クリア・カラー実技 (相モデル)	ジェルカラー相モデル
5	ジェルアート・講義・デモ	ピーコック・フラワーなどの
6	ジェルアート	ジェルアートの基礎を学ぶ
7	初級検定説明・デモ	初級検定内容を学び・技術をマスターする
8	初級検定実技	初級検定内容を学び・技術をマスターする

9	初級検定実技	初級検定内容を学び・技術をマスターする ※受験時期により内容を前後して行う
10	筆記テスト 初級検定実技	
11	実技テスト	
12	中級検定について フレンチ・グラデーションデモ・実技	中級検定について内容を理解する フレンチ・グラデーション デモ・実技
13	グラデーション実技	ハンドにグラデーション実技
14	フレンチ実技	ハンドにフレンチ実技
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コンテストⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20%・実技テスト60%・アート作品20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNAジェルネイル検定初級・JNECネイリスト検定3級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ・検定対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大宮 佳奈子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	コンテストについての説明と意識付けモデル選びのポイント 今後のコンテストの予定、ハンドの仕込みについて
2	ケア・カラー	サロンワーク対応の技術と コンテスト対応の技術での 相違点を理解する
3	ケア・カラー	
4	ケア・カラー	
5	ケア・カラー	
6	ケア・カラー実技テスト	
7	アート	

8	アート	サロンワーク対応の技術と コンテスト対応の技術での 相違点を理解する
9	アート	
10	アート作品提出	
11	ケア・カラー	
12	ケア・カラー	
13	ケア・カラー	
14	ケア・カラー	
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト1級・筆記用具・ノート エッセンシャルオイル入門検定1級A/Bセット		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。 ・アロマテラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる				
評価基準	筆記試験60%・精油小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1・2級				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福羅 愛艶	実務経験		○	
実務内容	エステティシャンとしてトータルビューティーサロンに3年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	アロマテラピーオリエンテーション 第1章 イントロダクション	・アロマテラピーとは・精油とは ・仲間同士の植物の特徴
2	第2章 エッセンシャルオイル	・精油の持つ性質、作用、抽出方法 ・精油のプロフィール (イランイラン クラリセージ グレープフルーツ)
3	第2章 エッセンシャルオイル 第3章 セーフティ	・精油の選び方、自然環境との関係、安全に使うための心がけ ・精油の作用・精油のプロフィール (サイプレス・サンダルウッド・ジャーマンカモミール)
4	第4章 プラクティス1	・注意すべき対象者、保管方法 基材について ・精油のプロフィール (ジャスミン・ジュニパーベリー・スイートオレンジ)
5	第5章 メカニズム 筆記試験	・精油が心身に伝わる仕組み 成績評価①
6	第6章 ビューティー&ヘルスケア	・睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア ・精油のプロフィール (スイートマジョラム・ゼラニウム・ティートリー)
7	第7章 ヒストリー 1	・アロマテラピーの歴史 (エジプト、ギリシャ、ローマ、インド、中国) ・精油のプロフィール (ネロリ・パチュリ・ブラックペッパー)
8	第7章 ヒストリー 2	・アロマテラピーの歴史 (アラビア・イスラム社会、中性ヨーロッパ、日本) ・精油のプロフィール (フランキンセンス・ペチパー・ペパーミント)

9	第7章 ヒストリー 3	・アロマセラピーの歴史（近世～近代ヨーロッパ） ・精油のプロフィール（ベルガモット・ベンゾイン・ミルラ）
10	第7章 ヒストリー 4	・アロマセラピーの歴史（現代 アロマセラピーの誕生） ・精油のプロフィール（メリッサ・ユーカリ・ラベンダー）
11	第8章 関連法規 1	・アロマセラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（レモン・レモングラス・ローズ）
12	第8章 関連法規 2	・アロマセラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（ローズオットー・ローズマリー・ローマンカモミール）
13	第4章 プラクティス 2	・アロマセラピーの利用法（紹介のみ）
14	コラムまとめ 筆記試験	・各章にあるコラムの部分でアロマセラピーの活用や知識の幅を広げる 成績評価②（第1章から題8章まで）
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディ I		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディ I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	クリエース化粧品セット・消耗品類 教科書 新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ		出版社	日本エステティック協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験80%(成績評価全4回実施)授業態度・提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳	実務経験	○		
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディ I オリエンテーション	前期復習 オリエンテーション
2	ポイントメイククレンジング 形状別クレンジング剤	形状別クレンジング剤の使用方法について (ジェル・クリーム・オイル)
3	フェイシャル ディープクレンジング	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔 (粒入り・無し)
4	フェイシャル ディープクレンジング	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔 (酵素)
5	通し練習	通し練習 肌に合わせた選択をする クレンジングーディープクレンジングーマッサージーマスクー拭き取りー整肌
6	通し練習	通し練習 肌に合わせた選択をする クレンジングーディープクレンジングーマッサージーマスクー拭き取りー整肌

7	フェイシャル実技試験	成績評価①
8	下肢（後）マッサージ復習	前期復習 ご案内-下肢マッサージ-ふき取り-誘導
9	腰背部マッサージ 導入	腰背部マッサージデモンストレーション
10	腰背部マッサージ 練習	下肢後面・腰背部 マッサージ練習
11	腹部マッサージ 導入	腹部マッサージデモンストレーション
12	腹部マッサージ 練習	腰背部・腹部 マッサージ練習
13	マッサージ総合	下肢後面～腹部 通し練習
14	ボディ実技試験	成績評価②
15	総合授業	総合復習

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する				
到達目標	与えられた課題でポリッシュやペイントアートが出来る				
評価基準	アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	生理学・皮膚学・ネイル演習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 実保	実務経験	○		
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴24年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ(筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説
2	検定実技(タイムトライアル)	
3	検定実技(タイムトライアル)	
4	検定実技(タイムトライアル)	
5	カラー(マットピンク・ホワイトなど)相モデル	白やピンクなどのマットカラーの
6	カラー(パールカラー・ナチュラルスキンカラーなど)相モデル	カラーリング練習と共に 前期に学んだポリッシュアートを
7	アート(フレンチ・マーブル)相モデル	相モデルにて行い習得していく ※カラーグラデーションやその他の
8	アート(グラデーション・ウォーターマーブル他)相モデル	流行のアートも実践する
9	ペイントアート (アクリル絵の具アート)	2級検定に向けてアクリル絵の具を使用しての アートを学ぶ(全体のバランス、アニマル柄など)

10	ペイントアート (アクリル絵の具アート)	シートにて練習後チップにて作成 過去の2級アートのテーマにて作品制作を行う
11	ケア・カラー・アート練習	
12	実技テスト (ケア・カラー・アート)	授業の総復習として アートも含め実技を行う
13	実技テスト (ケア・カラー・アート)	
14	筆記テスト	
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイル演習		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイル演習		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC 3級の取得をして、更に上級のJEC 2級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する				
到達目標	JNEC 2級レベルのケアやアートが出来る				
評価基準	3級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	生理学・皮膚学・ネイルアートⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 実保	実務経験	○		
実務内容	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、検定試験官、コンテスト審査員等多数経験。ネイリスト歴24年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ(筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説
2	検定実技(タイムトライアル)	
3	検定実技(タイムトライアル)	
4	検定実技(タイムトライアル)	
5	プレパレーションデモ リペア(シルクラップ)デモ・実技	爪の修正及び チップによる長さだしの技術を学ぶ
6	リペア(シルクラップ)相モデル	
7	チップラップデモ・実技	

8	リベア(チップラップ)相モデル	爪の修正及び チップによる長さだしの技術を学ぶ
9	リベア(チップラップ)相モデル	
10	ハンドトリートメント講義 デモ、ハンドトリートメント実技	ハンドトリートメントについて学ぶ
11	ケア・トリートメント・カラー	
12	実技テスト (ケア・カラー・チップラップ)	授業の総復習として
13	実技テスト (ケア・カラー・チップラップ)	チップラップも含め実技を行う
14	筆記テスト	
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅠ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	1
時間数	30				
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。				
到達目標	ブラッシング・ピンングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務し、ブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称
2	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入
8	ホットカーラー／ピンング	ホットカーラー反復練習 ピンング導入

9	ホットカーラー／ピニング 逆毛	ホットカーラー、ピニング反復練習 逆毛導入
10	ホットカーラー／ピニング 逆毛	ホットカーラー、ピニング、逆毛反復練習
11	アイロン	アイロン導入
12	アイロン	アイロン反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト	実技テスト
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定メイクⅡ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数					30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す				
到達目標	メイクの基礎技術から、フルメイクまで出来るようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック				
関連科目	検定メイクⅠ、ベーシックメイクⅠ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古屋 有紀	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 講師として、社内教育、都内スクールなどでメイク、パーソナルカラーの授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする

9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	症状別ヨガ&ピラティスの教科書 (参考図書：これ1冊できちんとわかるヨガ・これ1冊できちんとわかるピラティス) 学校教材か個人教材にてヨガマットを使用		出版社	つちや書店 (参考図書：株式会社マイナビ)	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる ヨガやピラティスのポーズを実施する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳	実務経験			
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション ヨガとは	身体を動かすことでの心身に及ぼす好影響, ピラティスとヨガの違い, ヨガの効果 (P8~15)			
2	ヨガと内観(感) セルフチェック	精神・身体・呼吸のつながりを体感する (P24~29)			
3	ヨガの呼吸法 ヨガの準備運動	呼吸法の習得, 準備運動の必要性 (P30~37)			
4	美姿勢ヨガ①	ポーズを実践			
5	美姿勢ヨガ②	ポーズを実践			
6	美姿勢ヨガ③	ポーズを実践			
7	テスト	ヨガの理解度の確認			

8	ピラティスとは	ピラティスの効果,コントロールとは (P16~20)
9	正しい姿勢とは	六点法で正しいアライメント (仰臥位・座位・立位・歩行) (P40~47)
10	ピラティスの準備運動 ピラティスの呼吸法	ストレッチ, プリージング方法の習得 (P48~52)
11	ファンダメンタル	基礎動作の習得
12	美姿勢ピラティス①	エクササイズの習得
13	美姿勢ピラティス②	エクササイズの習得
14	テスト	ピラティスの理解度の確認
15	総合授業	総まとめを行う

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	サロン・レセプション		
必修選択	選択	(学則表記)	サロン・レセプション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー (教員用のみ)		出版社	早稲田教育出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容室、エステサロン等ビューティーサロンで必須な受付、応対術を学ぶ				
到達目標	サロンの応対術を学び実際に実践できる				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳	実務経験		○	
実務内容	エステサロンにてエステティシャンとして勤務。その後自宅エステサロンを開業。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	レセプション (受付) の仕事とは	受付の需要、仕事、美容業の接客の重要性を知る			
2	お出迎え,受付,ご案内	お出迎えから案内までの具体的な方法を知る			
3	言葉遣い	基本の敬語 (感じの良い会話のやりとり)			
4	ケースストーリー①	お出迎え～ご案内まで実技演習 (動画撮影)			
5	振り返り①	動画を見ながら良い点・改善点・改善策を考える			
6	お茶の出し方,会計時の対応,お見送り	お茶の出し方～お見送りまでを知る			
7	ケースストーリー②	お茶の出し方～お見送りまで実技演習 (動画撮影)			
8	振り返り②	動画を見ながら良い点・改善点・改善策を考える			

9	電話対応	電話の受け方・取り次ぎ方のマナーを知る
10	予約管理,メール対応	P C 操作（ネット予約のシステムを知る）,メール対応を知る
11	DM	サンキューレター・年賀状・暑中見舞いの基本を知る
12	個人情報取り扱い,クレーム対応	個人情報保護法など美容業に必要な法の知識を知る トラブル・クレーム対応の基本を知る
13	指示の受け方,報告・連絡・相談	指示の受け方のポイント,報告・連絡・相談の仕方、清掃の仕方を知る
14	期末テスト	理解度の確認を行う
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティー・インダストリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー・インダストリー		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本（教員のみ）		出版社	秀和システム	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界を理解し、各業態でのサービス内容の違いや特性を知る				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各美容業界の実態を説明できる</li> <li>・自分で考えたサロン経営について発表することができる</li> </ul>				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する				
担当教員	石塚 順子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	美容サービスになりたい自分	授業の流れと導入、美容業界（各業態のイメージやメリットデメリットなど違いを考える） 自分の未来を棚卸しして目的の明確化
2	美容サービス業	美容サービスの規模、構成などトータルの美容の現状を学ぶ
3	エステ、ネイル、インナービューティー業界の実態	各業界を学び、興味のある職種を考える
4	理美容、ヘアメイク企業の実態	理美容業、ヘアメイクの現状とこれからの学ぶ
5	エステ業界の実態 ヘアメイク企業の特徴	エステ業界の現状とこれからの学ぶ 人気ヘアメイク、メイク企業を数件ピックアップし企業の特徴、強み、トレンドを学ぶ
6	エステ企業の特徴	エステ企業の特徴、強み、トレンドなどを学ぶ リラクゼーションの現状とこれからの学ぶ
7	ネイル業界の実態	ネイル業界の現状とこれからの学ぶ

8	ネイル企業の特徴	ネイル企業の特徴、強み、トレンドなどを学ぶ
9	テスト	理解度の確認
10	インナービューティ特徴	インナービューティ関連業界の現状とこれからを学ぶ
11	SNS、ソーシャルメディア	ソーシャルメディアの主な種類と使い分けを知る
12	SNS、ソーシャルメディア	効果的な写真の撮り方、広告の作り方を学ぶ
13	プレゼン準備	各業界の知識を理解し、各自でサロン経営を考える
14	プレゼン発表	PPTを用いて各自考えるサロン経営について発表する（サロンドリームマップ）
15	総合授業	総まとめを行う